

若竹会会員名簿

創立50周年記念

平成9年版



世田谷区立駒沢中学校同窓会

駒中50年の歩み ————— 1949～1956年



校舎(S 24年)



校舎(S 25年)



校舎(S 26年)



教職員の皆さん(S 25年)



校舎(S 28年)



校舎(S 27年)



雪の正門(S 31年)



校舎(S 29年)

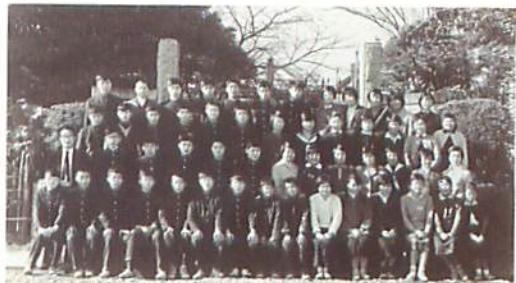


教職員の皆さん(S 31年)

駒中50年の歩み—— 1957~1961年



図書館(S32年秋完成)



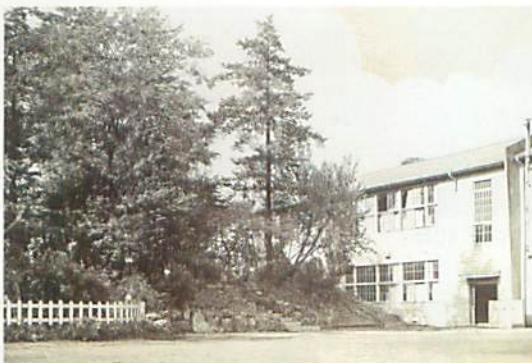
3年A組(S33年)



バスケットボール部(S35年)



タンチ山(S34年)



校舎(S35年)



落成した体育館(S36年)



教職員の皆さん(S36年)



新校舎・体育館落成式(S36年)

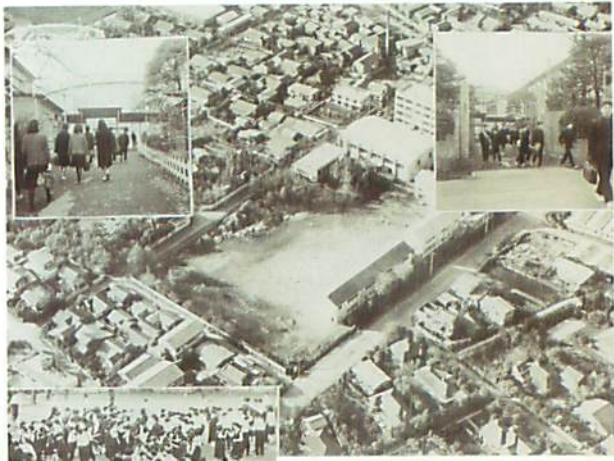


落成した新校舎(S36年)

駒中50年の歩み—— 1962~1967年



3年B組(S 37年)



校舎、学校生活(S 37年)



3年D組(S 39年)



ハンドボール部(S 41年)



美術部(S 41年)



校舎(S 40年)



ギター部(S 41年)



運動会(S 42年)



プール落成(S 36年) 水泳部創設(S 42年)



校舎全景(S 42年)



3年A組(S 41年)

駒中50年の歩み——1968~1970年



運動会・応援団 (S 43年)



運動会・マスゲーム (S 43年)



3年の先生方 (S 43年)



週番委員会 (S 43年)



卓球クラブ (S 44年)



3年C組 (S 44年)



運動会 (S 43年)



校門 (S 45年)



テニス部 (S 45年)

駒中50年の歩み—— 1970~1973年



授業風景 (S 45年)



授業風景 (S 46年)



保健委員会 (S 46年)



学級委員会 (S 46年)



陸上部 (S 47年)



現在の正門完成 (S 48年)



理科室にて 3年 A組 (S 48年)

駒中50年の歩み——1973～1975年



校舎(S 48年)



沖縄からの訪問団(S 48年3月)



剣道クラブ(S 49年)



学生服からブレザーへ(S 49年)



校舎(S 49年)



校舎(S 49年)



3年担当の先生方(S 49年)



職員室にて(S 50年)



3年C組(S 50年)

駒中50年の歩み

1976~1978年



航空写真 創立30周年記念 (S 52年11月26日)



校舎 (S 51年)



体育大会 (S 51年)

プラスバンド部
(S 51年)

修学旅行の一コマ (S 53年)



創立30周年記念行事 (S 52年)



授業風景 (S 51年)



東門と校舎 (S 53年)

駒中50年の歩み—— 1979~1982年



給食 (S 54年)



校舎全景 (S 55年)



仲間たち (S 54年)



授業風景 (S 55年)



校舎全景 (S 56年)



子供の国でマラソン大会 (S 56年)



校舎 (S 57年)



授業風景 (S 57年)

駒中50年の歩み ————— 1983～1986年

教職員の皆さん (S 58年)



世田谷区立新沢中学校
創立35周年記念合唱コンクール

創立35周年
記念合唱コンクール
(S 58年)



校舎全景 (S 60年)



調理クラブ
(S 58年)

離任式



入学式 (S 60年)



バレー部
(S 59年)



生徒総会 (S 59年)

駒中50年の歩み

1986~1988年



校舎全景(S 61年)



河口湖移動教室(S 63年)



サッカー部(S 61年)



プラスバンド部(S 61年)



創立40周年記念、校舎全景(S 62年)



校舎、体育館(S 63年)



京都に修学旅行
清水寺にて
(H 2年)



駒中50年の歩み — 1989～1991年



バレー部男子、女子(H 2年)
祝駒沢中学校男子バレー部
関東大会出場



プールにて(H 2年)



三千院にて(H 2年)



合唱コンクール
(H 2年)



校舎(H 3年)

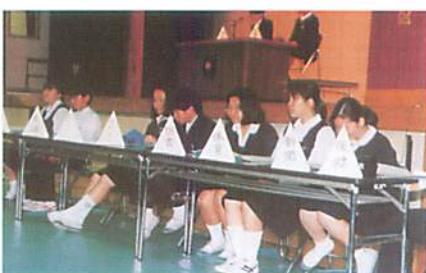
駒中50年の歩み—— 1992~1995年

給食
(H 4年)軟式
テニス部
(H 4年)

クラスのみんなと(H 6年)



河口湖移動教室(H 6年)

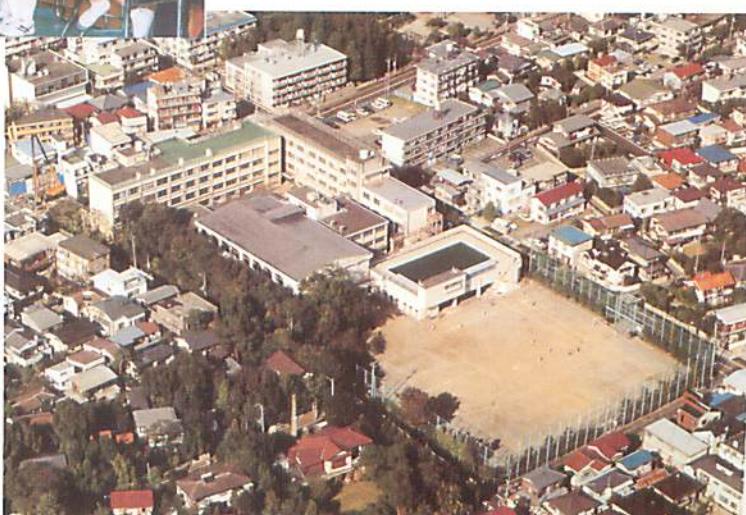


男子バスケットボール部(H 6年)

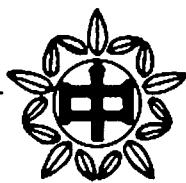
生徒総会(H 6年)



京都へ修学旅行、清水寺にて(H 7年)



校舎全景(H 7年)



世田谷区立駒沢中学校 校歌

J = 112

吉川静夫 作詞
高田信一 作曲

みどりはてなきむしさーのーの
などりを一とめしかかーのうえ
みとせのはるのはなーのかに
こころももゆるわがのゼみ
ああこまざわ中学校

- 一、みどり果てなき武藏野の
名残りをとめし丘のうえ
三年の春の花の香に
心も燃ゆるわが希望
あ、駒沢中学校
- 二、夏雲とおく流れゆき
グランド熱き南風
校旗を仰ぎ集いよる
歌声高きわが希望
あ、駒沢中学校
- 三、露草かざる学舎の
明かるき窓にいそしみて
文読むつきぬよろこびに
良き友得たるわが希望
あ、駒沢中学校
- 四、若竹雪に耐え忍ぶ
いのちに刻むその訓
ゆるがぬ富士の高嶺にも
競いて学ぶわが希望
あ、駒沢中学校



校章の話

校章は駒沢の土地にゆかりのある意匠で、学校の教育目標をも表すようなものにしたいと思い、職員生徒や父母から図案を募集しました。約30点におよぶ応募作品は、いずれも特色があり、創意に富んだ立派なものでした。その中の一つを選ぶのはむずかしいことでしたので、多くの方々に見ていただき、ご意見をいただいたうえで本校の佐野寿先生にお願いしてできあがったのが、円を竹の葉でかこんだ現在の校章です。

駒沢の土地は、今ではあまり見受けないようですが、昔は竹で有名であったそうです。竹は東洋の特産物で、海外の需要も多く、建築や工芸方面の資材として独特の用途があります。

皆さん、あの「竹の子」をご覧なさい。「すくすく伸びる」ということばは、実に竹の子の成長ぶりを言い表すために作られたようなものですね。そして「若竹」一なんと、すなおでいきいきとして、力強く、希望にみちた生命を思わせることであります。校歌にも「若竹雪にたえしのぶ…」とありますね。みなさんも、このようにすなおに、力強く、すくすくと伸びてください。そして、けだかく、節度ある人になってください。あたかも、竹に一定の間隔をおいて、「節」があるように。

世の中は、ひとりでは生きて行けません。互にしっかりと手を握り合い、助け合ってこそ、各自が楽しく生きて行くこともできるのです。竹がよい手本です。互に根と根を組み合い、からませ合って堅固な地盤に竹やぶという社会を作り、その中で、一本一本の竹が、まっすぐに高く伸び、毎年たくさんの竹の子も育って、ますます大きな竹やぶとなり、それによって、さらにまた、立派な竹がふえて行くのです。

私たちの校章は、この竹の葉で円をかこんでいます。円は、満月の形であり、太陽の形であります。私たちは、円満な人になり、円満な生活を送りたいものと思います。

おことわり—この一文は、「若竹」創立5周年記念号に掲載されたものを、紙面の都合で一部省略し、漢字の旧字体を新字体に、難解な語句を平易に改めて転載したものです。なお、筆者は、当時の前川校長でした。



校歌のいきさつ

始業式・終業式などあらゆる式典で、私達が歌っている校歌、いったい、いつどのようにしてできたのでしょうか。

校歌は昭和25年10月8日に制定されました。作曲者は、「若い力」などで有名な高田信一先生ですが、1960年に亡くなられてしまったそうです。作詞者の吉川静夫先生は、現在も御活躍中で、代表作に「長崎ブルース。」、「女のため息」などがあります。両先生とも駒沢に住んでいらっしゃることから、学校はお二人に校歌を依頼したのだと思われます。吉川先生は現在、駒沢3丁目にいらっしゃるということで、新聞委員が壁新聞製作のため、お話を伺うことになりました。

そこで音楽の梶山先生に、あらかじめ吉川先生へ面会の連絡をしていただいて、新聞委員4人と梶山先生とで吉川先生のお宅に伺いました。とても落着いたお住まい、応接室は本棚でいっぱいでした。先生は、私達にお茶をすすめてくださりながら、気軽にこうお話をくださいました。「私はできるだけ、自分の作ったものを忘れるように、自分を訓練してきました。そして、いつも頭をからにして、新しいものにのぞんできました。それでなければ、前のと似かよったものを作ってしまいますからね。」つまり、忘れることが、新しいものを生みだす足がかりになるのです。ですから、校歌を作詞したこと、あまり覚えていらっしゃらないようでしたが、当時の教頭だった寺田先生に頼まれて、今の野田病院の2階で作詞されたようです。生徒手帳をごらんになって、「4節も書いてあるなんて、ずい分サービスしたなあ。」と、ほほえんでいらっしゃいました。吉川先生が、作曲者の高田先生と組まれた曲には、校歌のほかに「オリーブの唱」や、他に2曲ぐらいあるそうです。

先生は駒沢大学のご出身で、駒沢大野球部の応援歌も作詞なさったそうです。先生は、読書をたいへん重んじていらっしゃいました。「学生時代に、登下校で男女が仲良く手をつないでいるのを目しますが、その手は本を持つべき手だと思います。著書は大変苦労のいる仕事だし、本は宝でしょう。誰にでも手軽に読めますからね。」先生は、いろいろな本を手あたり次第に、読まれた様子でした。書斎にも案内してくださって、お話をくださいました。きちんと片づいた部屋には、先生が日課になさっている新聞のスクラップブック、大きな机と、ゆったりとした椅子、それにピアノがありました。この部屋から、数々の作品が生まれたのかと思うと、なんとなく、重みというを感じました。

最後に先生は、「自分に与えられた責任というものは、ひじょうに大きいものです。そのことを自覚して、編集の仕事にはげんでください。」と私達におっしゃいました。自覚をもつということは、中学校生活においても本当に大切なものだと思います。先生は、私達の質問を真剣に聞いてくださいり、一つ一つていねいに答えてくださいました。そして私達も、「作詞家の先生だ。」という意識もなくし、気軽に楽しくお話をすことができました。

こういう方々によって生まれた校歌は、27年の間、私達の先輩達によって歌いつがれてきました。

「緑の果てなき、武蔵野の…。」

私達が卒業した後、ふとこの調べを聞いて、どんなにか懐かしく思うことでしょう。校章・たんち山とともに、駒中のシンボルとして、みんなでいつまでも大切にしましょう。

おことわりーこの一文は『30周年記念誌(当時2年生、藤沢美樹さん執筆)』に掲載されたものを、転載したものです。



駒沢中学校沿革史概略

- 昭和22. 4. 1 世田谷区立駒沢中学校設置。駒沢小学校構内
(都立駒沢実践女学校跡)。
普通教室 6 職員室・割烹室・ミシン室各 1。
4. 19 都立第六中学校教諭前川勝雄、初代校長。
5. 3 開校式。
23. 2. 1 駒沢中学校建設助成会結成。
3. 2 校舎敷地買収。(上馬 2-54他)
24. 2. 2 第一校舎落成。木造二階建て。普通教室 8。
5. 20 駒沢中学校 P T A 結成。
25. 10. 8 校旗・校歌制定。(第 4 回運動会にて)
26. 3. 18 第 1 次増築校舎落成。(木造 2 階 4 教室)
28. 1. 26 第 2 次増築校舎落成。(木造 6 教室)
29. 3. 14 第 3 次増築校舎落成。(木造 6 教室)
30. 10. 1 大田区立出雲中学校長 林静一、第 2 代校長。
31. 2. 24 第 4 次増築校舎落成。(2 教室、理科音楽教室)
32. 5. 4 創立10周年記念式典挙行。
11. 21 図書館(音楽堂)落成。
34. 4. 1 豊島区立駒込中学校長 下田幸胤、第 3 代校長。
11. 16 第 5 次増築校舎落成。(8 教室)
35. 11. 12 第 1 校舎(8 教室)改築のため撤去。第 2・3 次増築校舎 8 教室、校舎東側に移転。
36. 9. 25 第 1 期増改築鉄筋校舎。(12 教室)
体育館落成。
38. 4. 1 中野区立第二中学校長 福田豊吉、第 4 代校長。
39. 6. 30 プール落成。(25m・6 コース)
10. 12 ミルク給食開始。
40. 10. 8 万年堀、校庭正門、小門設置。
42. 11. 11 創立20周年記念式典挙行。
43. 4. 1 町田市立町田南中学校長 稲葉速水、第 5 代校長。
44. 11. 28 美術研究協力校として研究発表。
47. 1. 8 第 2 期改築鉄筋校舎(8 教室)落成。
48. 2. 13 第 3 期改築鉄筋校舎(9 教室)落成。
48. 12. 25 沖縄交歓訪問団に参加。
49. 4. 1 区立富士中学校教諭 鈴木登、第 6 代校長。
5. 19 完全給食開始。



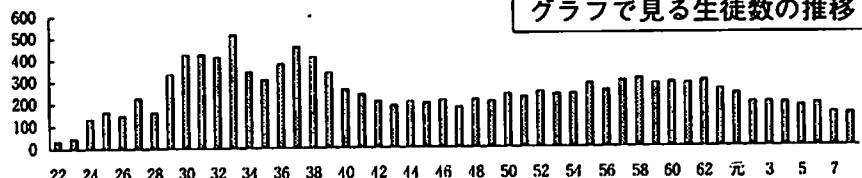
-
52. 3. 31 運動場周囲防球ネット完成。
4. 1 大田区立大森第一中学校長 三橋竹藏、第7代校長。
11. 1 第4期増改築鉄筋校舎（2教室、視聴覚室、保健室、職員室）着工。
53. 7. 25 第4期増築鉄筋校舎落成。
9. 25 給食休憩室、体育倉庫、生徒通用東門落成。
54. 3. 20 西側フェンス完成。
55. 3. 20 プレハブ校舎2教室仮設。
12. 20 第5期増築鉄筋2教室落成。給水、消防施設整備。
56. 4. 1 区立桜丘中学校長 木寺慧舟、第8代校長。
57. 3. 27 第1、第2改築校舎再塗装完成。
59. 9. 6 西側屋上防火工事、中央トイレ（1・2階）改修工事開始。
10. 16 体育館等改修工事開始。
60. 4. 1 板橋区立板橋第二中学校教頭 金井昭男、第9代校長。
61. 3. 15 体育館、格技室、特別教室等落成。
7. 20 プール完成。
10. 31 校門改修工事完成。
11. 20 校庭改修工事完成。
62. 3. 30 植栽工事完了。
8. 30 被服室・視聴覚室改修工事完了。
63. 2. 27 図書館改修工事完了。
4. 1 中野区立第一中学校長 金子政雄、第10代校長。
- 平成元. 11. 1 パソコンルーム新設、ガス暖房器設置。便所改修工事完了。
2. 12. 18 パソコン21台設置。
3. 8. 31 西側校舎耐震壁補強工事完了。
4. 4. 1 世田谷区立奥沢中学校教頭 假屋進輔、第11代校長。
6. 4. 1 教育機器研究奨励校。
7. 4. 1 世田谷区立瀬田中学校教頭 居駒永昭、第12代校長。
9. 6. 21 創立50周年記念式典挙行。



生徒教員の推移

年度	学級数	卒業生数	教員数	校長名	教頭名
22	5	33	9	前川 勝雄	寺田 一十
23	7	46	13		
24	9	132	13		
25	10	164	17		
26	10	148	17		
27	13	224	20	林 静一	宇佐見三郎
28	17	161	25		
29	22	333	31		
30	24	423	23		
31	25	425	39		
32	22	412	38		
33	23	515	38		
34	20	345	35	下田 幸胤	竹内 正三
35	22	308	37		
36	25	380	39		
37	24	459	37		
38	22	410	39	福田 豊吉	寺木 正男
39	18	339	36		
40	16	263	34		
41	16	239	34		
42	15	207	32		
43	15	188	32	稻葉 速水	齊藤 清二
44	15	205	32		
45	15	200	31		
46	16	212	33		
47	16	179	33		
48	16	214	33		
49	16	206	34	鈴木 登	植田 登治
50	18	239	37		
51	17	226	37		
52	18	249	37	三橋 竹藏	滝沢 健
53	19	237	40		
54	19	239	39		
55	20	286	43	木寺 慧舟	谷 純一
56	20	255	42		
57	21	300	43		
58	20	310	43		
59	21	286	43		
60	21	292	44	金井 明男	大畠 寛
61	20	285	42		
62	19	298	39		
63	17	257	33	金子 政雄	岡部 孝俊
元	16	238	33		
2	15	198	31		
3	15	199	31		
4	15	195	32	假屋 進輔	中野 義邦
5	14	181	30		
6	13	191	29		
7	12	149	28	居駒 永昭	武内 愛樹
8	12	147	26		
9	12	12,630	28		

グラフで見る生徒数の推移



特別懇談会

[特別懇談会]

平成9年3月26日、駒沢中学1期から3期卒業の方々にお集まり頂き、居駒校長先生、我々同窓会役員との懇談会が行われた。

1期生2期生の方達は駒沢小学校内にあった駒沢実践女学校に入学された生徒さん達で、新制中学制度初年度の時に突然駒沢中学校3年生・2年生となつたのであって、卒業は駒沢実践女学校に於いてである。しかも学区外の目黒や荏原からの通学であり、1年生である3期生が地元世田谷の生徒であった。

然しながら、その1年生の方達も集団租界から帰ったばかりで、お腹をすかせ、入学式などもなく、3月から5月頃まではただ遊んでいたとの事であった。

又、その当時はまだタンチ山の現在の校地は候補地であって、やっと校舎が完成し、移転したのは3期生が3年生になってからの事で、その間は駒沢小学校内の実践女学校を仮校舎として使用していたのである。

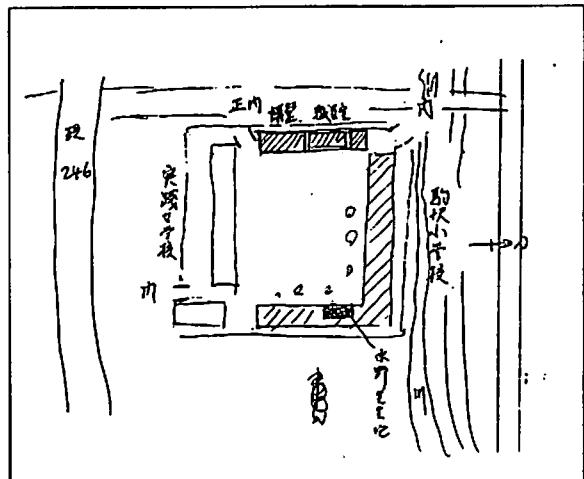
その（駒沢実践女学校の）位置は図の白い部分で、門は3つ。正門は右端で講堂のある所、ここは小学校用。駒沢中学校の門は裏門を利用、他に小使い室のところに門があり、周囲をドブ川が流れていた。

校庭は共通だが、中学生は余り使わず、教員室は別で2階建ての空いた1階に音楽の水野先生御夫婦が住んでおられたとの事である。

1期生は昭和20年4月に入学、「真中」のあたりの特攻隊のペニヤ造りの船を作る工場で働いていたとの事だった。交通は激しくなかったので下駄を履き本を読みながら通学した。校内履きは、おじいさんが縫んでくれたワラジだった。

3期生は合成ゴムのような運動グツで、もろくてすぐに割れてしまったとの事。国民服のようなカーキ色の学生服、教科書は印刷された新聞紙大の物を自分で切ってとじ合わせて作った。関東ロームの赤土の中のベンキも塗っていない木造校舎、左側にタンチ山。講堂もなく、卒業式は教室を抜いて広げたところで。

グランド整備作業は前川校長先生を先頭に男女を問わず全員が仲良く楽しく働いた。



特別懇談会

実践女学校校舎時代の工作的時間、担当の秋元先生は工事中の新校舎の出来上がり具合のミニチュアを木とセメダインを使って模型にした。

学童租界の思い出、砂利道の通学路、野菜畠、水道塔、蛇崩れ川のザリガニ、DDTによる消毒、肝油、二部授業、小使さんの鐘、タンチ山の名の由来、出席者の2期生の方に育成園の出身者、ダンスのうまい生徒がSKDに入団等々。

話し合う程に、いろいろの思い出が甦り、時間を忘れる程の楽しい一刻を過ごされた。

まだまだ若々しく元気な先輩達がありました。

お集り頂き、貴重なお話の数々大変ありがとうございました。

